

**総合的な学習の時間 学習指導案**  
**単元名「藤岡の魅力 伝え隊」**  
**〔探究課題：地域の未来と自分たちの生活〕**

令和5年〇月〇日 (〇) 第5校時 〇年〇組教室  
 藤岡市立美土里小学校 〇年〇組 指導者 〇〇 〇〇

**I 単元の構想**

**1 単元の目標及び児童の実態**

<b>単元の目標</b>	藤岡市の史跡・特産物の魅力やそれらに関わる人々の思いや取組を調べたり、調べた魅力を広く発信したりする活動を通して、地域の様々な魅力や、課題解決に向けての取組が地域の未来を創造することにつながっていることを理解し、今後の藤岡市の在り方について考えるとともに、自分たちができることを見付けて行動できるようにする。		
<b>児童の実態</b>	<b>知識及び技能</b>	<b>思考力、判断力、表現力等</b>	<b>学びに向かう力、人間性等</b>

**2 評価規準**

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>評価規準</b>	①藤岡市には様々な魅力や課題があることを知るとともに、課題解決に向けた取組が地域の未来を創造することにつながっていることに気付いている。 ②藤岡市のまちづくりに関わる調査活動を、現地調査やインターネットを効果的に用いて実施している。 ③藤岡市の様々な魅力や課題の理解の高まりは、藤岡市のまちづくりを探究してきた成果であると実感している。	①藤岡市のまちづくりの現地調査を通して関心のある課題を設定するとともに、解決の方法を考えている。 ②藤岡市のまちづくりに必要な情報を、調査する対象に応じた方法や手段を選択して、収集している。 ③藤岡市のまちづくりに向け、魅力を発信する視点から情報を整理・分析している。 ④藤岡市のまちづくりに向けた自分の考えを、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、表現している。	①藤岡市のまちづくりに向け、他者の考えを認めたり、自分の考えのよさに気付いたりしながら、活動に進んで取り組もうとしている。 ②藤岡市のまちづくりに向けた課題解決を進める中で、自分と違う意見や考えのよさを生かしながら、協働して学び合おうとしている。 ③藤岡市や地域の人々とのつながりの中で、自分たちができることを見付け、藤岡市のまちづくりに向けて行動しようとしている。

**3 指導及び評価、ICT 活用の計画 ※別紙参照**

**4 探究課題の価値**

藤岡市は、群馬県の南西部に位置し、「群馬の玄関口」として、充実した高速交通網を有している。市内には世界文化遺産に登録された「高山社跡」等の歴史的価値の高い建造物や古墳が数多く存在し、市の中心部にある商店街では、伝統工芸「鬼瓦」を生かした装飾が見られ、それを模した菓子等が売られている。また、本年度に入り官民一体となって「やよいひめ」というイチゴを特産物としてブランド化しようとする動きも見られる。ただその一方で、本市を訪れる観光客は年々減少しており、市への集客が大きな課題となっている。

本学級の児童は、第2学年の生活科で「町探検」の学習を通して、美土里地区の魅力に気付き、地域への愛着を深めてきた。また、第4学年の社会科で「文化財と年中行事」の学習を通して、伝統工芸「鬼瓦」を生かしたまちづくりや、無形文化財「獅子舞」等の後継者不足の問題について関心を高めてきた。

このような児童が、本単元を通して、地域の未来と自分たちの生活を探究することにより、「地域の人々と関わって生きていること（相互性）」「友達や地域の人々と力を合わせ、目的の実現に向けて取り組むこと（協働性）」などの概念的知識を獲得することができる。また、生活科における町探検の学習や、社会科の地域を創生する市役所の学習、国語科のインタビューの仕方や、外国語科の英語を用いた質問の仕方、算数科のデータ活用や、家庭科の調理の仕方など、各教科等との関連を図り、横断的・総合的に学習を進めていく中で、まちづくりの問題を多様な角度や側面から俯瞰して捉え、探究していくことができる。そして、地域や保護者の協力を得ながら、これからも地域の一員としてよりよいまちづくりに向けて行動しようとするなど自己の生き方を考えることができる。

なお、次年度の中学校第1学年では、「食」と「職」の視点から藤岡市のまちづくりについて探究する学習へとつながる。

II 本時の学習 (43/60)

1 ねらい これまで探究してきたことを基に、自分たちの伝えたい藤岡市の魅力に合った発信方法を話し合うことを通して、伝える相手や各発信方法のよさと、自分たちの伝えたい藤岡市の魅力を関係付けることができる。

2 展開

【★ICT 活用に関する事項】

<p>主な学習活動 予想される児童の反応〔S〕</p>	<p>○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <p>S：前回の授業で私たちは、古墳の数が多いことを中心に伝えようと決めたのだったな。発信方法によって、発信できる情報量やインパクトなどそれぞれ特徴があるから、今日は、自分たちの伝えたい魅力に合った発信方法を決めていきたいな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>＜めあて＞ 自分たちの伝えたい藤岡市の魅力に合った発信方法を考えよう。</p> </div>	<p>○発信方法について探究してきたことを想起することができるように、前時までの振り返りや、学習計画表を提示する。 【★提示】</p> <p>○「これまでの学習で調べてきた藤岡市の魅力をたくさんの人に伝える」という目的を明確にすることができるように、単元の課題を改めて問いかける。</p> <p>○自分たちが選んだ藤岡市の魅力を伝えるための発信方法を考えるという本時の見通しをもてるように、前時の終わりに話し合った本時に取り組みたい活動内容を問いかける。</p>
<p>2 班ごとに、自分たちの伝えたい藤岡市の魅力に合った発信方法を検討する。(30分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>＜予想される発信方法＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤岡市の魅力発信ポスター</li> <li>・藤岡市の魅力発信動画</li> <li>・商店街のお店マップ</li> <li>・ららん藤岡から古墳群までのスタンプラリー</li> <li>・イチゴイベントで配布するリーフレット</li> </ul> </div> <p>S：まだ行ったことがない人に、実際に行ってみてほしいな。だから、動画で見ってもらうよりも、古墳まで来てもらうスタンプラリーがよいと思うけれど、班のみんなはどう考えているのかな。</p> <p>S：みんなの考えた発信方法は、どれも納得できる意見だから、決めるのは難しいな。</p> <p>S：他の班は、藤岡市の人に人情味あふれる商店街の魅力を伝えるために、お店マップを作ろうと考えているのだな。確かに、イラストをたくさん入れた楽しいお店マップを作ってもらえば、きっとたくさんの人が興味をもってくれるし、実際に行ってみてほしいと思ってくれるかもしれないな。</p> <p>S：班の話合いや発表から、古墳の魅力を何度も目にする機会を作って、興味をもってもらうことが大切だと思ったよ。発信方法はポスターにしよう。</p>	<p>○自分たちの伝えたい藤岡市の魅力を効果的に伝えられる発信方法を検討できるように、発信方法を順位付けながら話し合うよう促す。</p> <p>○各発信方法のメリットやデメリットを考慮しながら発信方法を選択できるように、以前整理した発信方法の特性を示した二次元表を提示する。</p> <p>○発信する場所を具体的にイメージしながら発信方法を検討できるように、発信場所の候補地を掲示する。</p> <p>○他の班の発信方法のよさを参考にすることができるように、発表する班にはその方法を選んだ理由や視点を全体に紹介するよう促す。</p> <p>○発表した班が自己肯定感を感じることができるように、他の班が発信方法を検討する上で参考になった理由や視点を称賛する。</p> <p>○発信方法が決まった班には、発信方法の内容を具体的に検討できるように、計画を立てたり、イメージ図を描いたりするよう促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目（思） 発信方法を検討する児童の発言や行動観察から、「藤岡市のまちづくりに向け、魅力を発信する視点から情報を整理・分析しているか」を評価する。</p> </div>
<p>3 本時のめあての到達度を確認するとともに、学習の振り返りをし、次時の見通しをもつ。(10分)</p> <p style="text-align: right;">【★共同編集】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>＜振り返り＞ 私は最初スタンプラリーがよいと思っていたけれど、みんなの意見を聞いて、藤岡市の魅力を知らない人に古墳に興味をもってもらうことが大切だと思いました。みんなで話し合った結果、ポスターに決まったので、次回は計画を立てたいです。</p> </div>	<p>○本時の探究のよさや課題を実感できるように、スプレッドシートに「この時間にできたこと」や「できなかったこと」について本時の振り返りを記入するよう促す。</p> <p>○各自の振り返りを次時の活動につなげることができるよう、スプレッドシートの振り返りをテキストマイニングで全体に可視化し、多く出た言葉を基に、次時の活動内容を問いかける。</p> <p style="text-align: right;">【★一覧表示】</p>

<別紙>

3 指導及び評価、ICT 活用の計画（全 60 時間：本時第 43 時）

	時	学習活動	知	思	主
つかむ	1~8	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究課題と出会い、単元の課題を把握する。 11 時間</div> <p>【探究課題と出会う】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えや家族にインタビューした内容を伝え合う。(あ) (a) (b) (i)</li> <li>美土里小校区周辺の史跡を散策する。(い) (う) (c) (ii)</li> </ul>			①
	9,10	<p>【単元の課題を把握する】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>散策したことを基に、美土里小校区のまちづくりの課題について話し合う。</li> <li>藤岡市商工観光課の職員の話に基づき、藤岡市のまちづくりの現状を知り、自分たちの藤岡市に対するイメージとのずれに気付く。(iii)</li> <li>藤岡市の広報パンフレットを見て、藤岡市のよさや課題を話し合う。</li> <li>「調べた魅力を発信し、観光客を増やしたい」という児童の思いを基に、単元の課題を設定する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><b>単元の課題</b> 藤岡市にたくさんの人が訪れてくれるように、藤岡市の魅力を伝え広めよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元名を、学年全体で話し合って決める。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><b>単元名</b> 藤岡の魅力 伝え隊</p> </div>	①	①	
	11	<p>【追究の見通しをもつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>藤岡の魅力伝え隊の今後のおおまかな学習計画を立てる。</li> </ul>		①	
追究する ①	12 ~17	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">単元の課題に基づき、各グループで課題を設定し、追究する。15 時間</div> <p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>藤岡市商工観光課の職員の話を取り返し、藤岡市中心の商店街の現状と魅力、問題点を探究する見通しをもつ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>【課題】 まだ広まっていない藤岡市の魅力を、商店街で見つけよう。</p> </div> <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>魅力を調べ、発信するために、藤岡市中心の商店街の散策を行う。(う) (iv)</li> </ul> <p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真やインタビューのメモを基に、商店街の魅力や名物、働く人の思いや願いについて交流する。(い) (d) (e)</li> <li>藤岡市の魅力を分類し、特徴を整理する。(い) (f)</li> </ul> <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分類した魅力を基に、藤岡市のキャッチフレーズを考える。</li> </ul>	②	②	②
追究する ②	18 ~26	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりに生かせる藤岡市の特産品を考える。</li> <li>特産品「やよいひめ」について、探究する見通しをもつ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>【課題】 まだ広まっていない藤岡市の特産物「やよいひめ」の魅力を見つけよう。</p> </div> <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「やよいひめ」を他の品種のイチゴと食べ比べる。(う) (v) (vi)</li> </ul> <p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他品種と比較した「やよいひめ」のよさを挙げる。</li> <li>実食した物が冷凍だったことを振り返り、イチゴの生育時期について分析する。</li> <li>冷凍イチゴの加工やアレンジの仕方を模索し、実際に加工やアレンジをする。</li> </ul> <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの探究を振り返り、藤岡市の魅力をノートにまとめる。</li> </ul>	②	②	②
夏季休業		<ul style="list-style-type: none"> <li>より深く調べたい内容を決め、自ら探究を深める。</li> </ul>		④	

追究する ③	27 ～56	<p style="text-align: center;">新たな課題を見いだし、継続して追究する。 30時間</p> <p><b>【課題の設定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休業中にそれぞれ進めた探究を共有したり、歴史館の職員やJAの職員に話を聞いたりして、これまで調べた藤岡市の魅力を振り返る。 (い) (g) (ii) (vii) (viii)</li> <li>・藤岡市の魅力を発信する相手や方法について考えて発信するまでの見通しをもつ。</li> </ul>	①	②	②
		<p><b>【課題】</b> 藤岡市の魅力を伝えるための方法を考え、発信しよう。</p> <p><b>【情報の収集】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ららん藤岡でインタビューを行い、自分たちが調べた藤岡市の魅力の認知度を調査する。(ix)</li> <li>・発信したい内容や効果的な発信方法について調べる。(う)</li> <li>・修学旅行の際、鎌倉市の史跡やまちづくり・特産物の魅力や、PRの仕方を調べる。また、観光客に対し、鎌倉市にきた目的や魅力に感じたことをインタビューしたり、藤岡市の魅力について説明したりする。(あ) (b)</li> <li>・全国の学校とオンライン交流し、各校の取組から自分たちの学びを見直す。 (い) (え) (h) (1) (2)</li> </ul> <p><b>【整理・分析】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌倉市の観光を推進している方法と、自分たちが考えている発信内容や発信方法を比べ、よりよい発信に向けて分析する。</li> <li>・自分たちの伝えたい藤岡市の魅力に合った発信方法を検討する。</li> </ul> <p><b>(本時：追究する③17/30)</b> (い) (お) (f) (g)</p> <p><b>【まとめ・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発信したい内容や発信方法について、保護者や学校職員、これまで関わってきた地域の人々に提案する。(お) (か) (i) ~ (x)</li> <li>・藤岡市の魅力を広く発信する。(i) ~ (x)</li> <li>・未来につながる豊かな地域づくりのための提言を、他県の交流校に向けて行う。 (い) (お) (か) (h) (1) (2) (3) (4)</li> </ul>			
まとめ る	57 ～60	<p style="text-align: center;">単元全体の学習の振り返りをする。 4時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元の学習に関わってくれた人たちへのアンケートを実施し、自分たちの取組を評価する。(い) (d) (i) (ix)</li> <li>・単元の振り返りをし、自分の考え方が変わったことや成果をまとめる。</li> <li>・単元全体の成果と課題をまとめ、次年度の新6年生である5年生に渡す。</li> </ul>	③		

**\* 活用する学習支援ソフト等：**

(あ) ミライシード (い) Google (う) 各種検索エンジン  
(え) Padlet (お) AI テキストマイニング by ユーザーローカル (か) Canva

**\* 活用するコンテンツ等：**

(a) ムーブノート (b) オクリンク (c) Google Earth (d) Google フォーム  
(e) Google ドライブ (f) Google Jamboard (g) Google スプレッドシート (h) Google Meet

**\* 関わる外部人材等：**

(i) 保護者や地域の方 (ii) 藤岡市文化財保護課職員 (iii) 藤岡市商工観光課職員  
(iv) 藤岡市中央商店街で働く方々 (v) 木村 Strawberry farm (vi) ベルク大塚店  
(vii) 藤岡市農政課職員 (viii) 全国農業協同組合連合会職員 (ix) 藤岡クロスパーク※ららん藤岡  
(x) 鎌倉市観光協会職員

**\* 交流する学校等：**

(1) 奈良市立ならやま小学校 (2) 屋久島町立神山小学校  
(3) FURUSATO MIRAI MEETING 参加校 (4) 大阪万博2025パビリオンゲート企画参加校